



昨年の花見ツアー

曾於市の木が桜であること、市民にはあまり知られていない桜の名所があることから、桜に親しんで頂くとともに、桜の名所を知って頂きたいことから、昨年度好評だった「花見（桜）」

「ウキウキ花見（桜）ツアー」の参加者募集

お問い合わせ先

曾於市観光特産開発センター
曾於市末吉町深川 11050-1
(道の駅すえよし隣)

☎ 0986-28-0111

FAX 0986-79-1147

E-mail: nomura@sookai.net



「ツアー」をバージョンアップして今年も行います。

この花見ツアーの特徴は、市内の多数の桜の名所を楽しんで頂くことと、観光ガイドが桜について幅広く説明しますので、桜に対する知識が豊富になることです。

また、昼食の特製花見弁当も楽しみにしてください。皆様の参加をお待ちしています。

日時 4月1日(日) 9時15分～15時30分

観光地 曾於市内の桜の名所(8か所)

料金 1000円(弁当、お茶、保険等)

定員 先着40名

主催 曾於市観光特産開発センター

共催 曾於市

集合場所 曾於市役所本庁正面玄関前

受付時間 9時10分まで

申し込み方法 電話、FAX、メール、郵送、直接センターへ

申し込み内容 氏名・住所・電話番号

申し込み先 曾於市観光特産開発センター

申し込み期限 定員に達するまで

その他 歩きやすい靴、服装で参加願います。



農畜産物の栽培・加工・販売について学び・考える会を開催



ゆずの活用策に関する意見交換会

2月16日、鹿児島県・曾於市・曾於市観光特産開発センター等は、曾於市の基幹産業が農畜産業であることから、農畜産物の加工・販売について学び・考えようということを目的に、「農商工等連携テーマ別検討会・新発見ツアー in 曾於」を末吉総合センターで開催しました。

講演会は、食農連携コーディネーター等の鳥巢研二氏が「特産品を活かした地域活性化戦略」の題で講演されました。①乾物などはあまり売れず、そのまま食べられるレトルト食品などが良く売れる、②曾於市の中で六次産業化を行うためには、農業・加工・販売業者をまとめるキーパーソンが必要、等のアドバイスがあり、会場いっぱいの参加者は真剣に聞き入っていました。

現地見学は、ゆず畑、加工場、道の駅を見学し、一連の栽培・加工・販売について視察しました。

意見交換会では、ゆず生産状況、加工・販売状況の説明後、討論を行いました。①ゆずは青果も販売すべき、②ゆずの機能分析をすべき、③ゆずの果皮を活用すべき、④アピールポイントが必要、等の意見が活発に出されました。

今後、曾於市ではゆず生産量が大幅に増加することもあり、どのように対応すべきか、本日学んだことを参考に早急に関係者一体となって取り組んでいくことが望まれます。

先月号 21 ページでご紹介しました「津留辰夫さん 厚生労働大臣表彰」の記事中で、津留さんのお名前を「辰夫」とさんと掲載しておりましたが「辰矢」さんの誤りでした。
お詫びして訂正いたします。



第3回 教師力向上講座開催(夢実現支援者の集い)



1月21日、末吉総合センター会議室で市内小中学校の先生方はもちろん鹿児島市など市外からの5名も含め総勢27名が参加して、教師力向上講座(夢実現支援者の集い)が開催されました。

この講座は、児童生徒が、確かな夢をもち、夢に向かって歩みを進めるために、その手助けをする教師の資質向上を目的に開催されたものです。

研修プログラムには、読書指導、授業づくり、夢実現を生かした生活指導など、今すぐにでも現場で活かせる講座が盛り込まれており、参加された先生方がまばたきも息も止めんばかりに真剣に講師の先生に学んでいる姿がとても印象的でした。

講座の後には、茶話会があり、講座の教材で使った絵本の中に登場する手作りのお菓子が振る舞われました。参加された先生方は、おいしいお菓子を味わい時間が経つのも忘れ、お互いの指導方法や考え方などについて熱心に情報交換をしていました。

文部科学大臣表彰(平成23年度子どもの読書活動優秀団体表彰)



^{はふりて}祝子おはなし会は昭和63年、旧財部町立図書館が、夏休みに来館する子どもたちに読み聞かせをしてくれる住民を募集し、その事業に集まった方々によって事業終了後も活動を続けたいという思いで設立されました。以後、24年間の長期にわたり活動を続けてきています。

活動内容は、月1回のおはなし会、市内2ヶ所の保育所で毎月おはなし会を実施しています。その他の活動として、市内・県内の幼稚園・保育所・小学校・中学校・高校で行われる昔ばなしを中心としたおはなし会に語り手として参加しています。

このような功績が、高く評価され、文部科学大臣の表彰(平成23年度子どもの読書活動優秀団体表彰)を受けました。

市内の人権を守るために



1月23日、市長室で人権擁護委員の委嘱状交付式が行われました。

今回は、人権擁護委員として大隅地区の持田初穂さん（2期目）、に法務大臣からの委嘱状を伝達交付されました。

曾於市には、各地区3人ずつの9人が人権擁護委員として委嘱され、市内で人権侵害等のないよう人権相談をはじめ各種活動が展開されています。

池田市長は「人権問題をはじめ、地域のさまざまな相談などがあると思いますが、今までの経験を生かし曾於市の人権等を守るためにご尽力ください。」と話しました。

のりえ 鈴木慶江さんミニコンサート開催



1月19日、財部小学校体育館で全校児童331名が鑑賞するソプラノ歌手鈴木慶江さんのミニコンサートが開催されました。

鈴木さんは、神奈川県横須賀市出身で、2002年には第53回NHK紅白歌合戦にも出演された大変有名なオペラ歌手です。

当日は、とても寒い日でしたが、ご覧のようなとてもきらびやかな衣装で、寒さも吹っ飛ばすように体全体から、透き通る歌声で神秘的なムードが漂っていました。

殆どの子供たちが本物のオペラを聴くのは初めてで、アカペラでも会場全体に大きく響き渡る歌声にとてもびっくりしている様子でした。

鈴木さんのお話の中で、「小さい頃は体育会系だった私でしたが、高校時代の先生が歌声をととても褒めてくれました。その事がとてもうれしくてこの世界に飛び込むきっかけになりました。先生にはとても感謝しています。皆さんも夢を常に追い続けてください。」と述べられました。

6年生の永吉悠さんは、「本当のオペラを聴くことができ今日はとても感動しました。これからも、世界で活躍してください。私達も夢を追い続けるよう頑張ります。」と明るくとてもはきはきとお礼の言葉を述べました。



県下一周駅伝選手と力走 新記録続出



2月2日、大隅町の月野小学校で今年県下一周駅伝大会に出走する選手を招いて持久走大会がありました。

招待された選手は、上川浩幸（教育委員会末吉分室勤務）さんと平川慎介（道の駅すえよし勤務）さん、東圭祐さん（大隅曾於地区消防組合北部消防署勤務）で、3人はすべてのプログラムに気持ちよさそうに楽しみながら走っていました。それでも最後には、ダッシュで県下一周駅伝選手のスピードの違いを披露するなどこども達にはとても刺激になった様子でした。そのせいか、6種目中5種目が新記録でした。

閉会式で3選手からの一言で「去年も苦しいときに、月野小の子どもたちの顔を思い出して頑張れました。また、今年も頑張ります。」と心強い言葉をいただきました。

大盛り上がり コロッケコンサート



1月28日、大隅文化会館大ホールでものまねエンターテインメントコロッケコンサート 2012 が開催されました。

このコンサートは、2回公演でしたが、どちらとも超満員という盛り上がりでした。

コロッケさんは、いわずと知れたものまねの第一人者。120分の上演中、ずっと動き回り、いきつく間もないほど次から次へと変わる最高のパフォーマンスに、観客からは歓声や笑い声が途絶えることのない、もの凄い盛り上がりでした。

笑いだけではなく、歌唱力もかなりのものがあり、トークの中では東北大震災で人間の優しさ、強さに触れ「感謝の心」を改めて大切にしたいというメッセージがとても心に響くすばらしいコンサートになりました。

宝くじの助成金で移動式の舞台設備を整備



平成23年度コミュニティ助成事業により、末吉総合センターに移動式舞台を整備しました。

この事業は、地区公民館組織等が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることを目指すもので、財団法人自治総合センターが、コミュニティ活動に直接必要な設備の整備を支援しています。この設備は、今後、公民館や地域で行われる様々なイベント等に活用されます。



花房峡憩いの森 20 周年記念植樹祭開催



2月11日、花房峡憩いの森で、20周年記念植樹祭を開催しました。

花房峡憩いの森は、平成3年3月に総工費10億7000万円をかけ建設されたもので、自然とたわむれながら、アウトドアや癒しを感じるとともに、自然体験学習やスポーツ少年団の研修施設としても利用されてきました。オープン以来有料入場者数65万人の方が訪れ、地域の憩いの場としても活用されています。

植樹祭では最後に高岡みどりの子ども会代表の南之郷中2年の高岡晴奈さんと末吉中2年加塩菜那美さんが「私たちは毎年憩いの森の空き缶拾いや落ち葉はきなどクリーン活動を行っています。これからも憩いの森を大切に、自然を破壊することなく希少価値の高い動植物を守り、多くの方が利用できるようにすることを誓います。」と力強く述べました。

植樹したたくさんの苗が、地域の方々の温かい心遣いと自然豊かな大地で大きく育っていくことを祈ります。